

イタリアンライグラス優良品種のご紹介

長期～極長期利用
(周年または草地的利用)

エース

OECD登録品種
雪印種苗育成品種

品種特性

- エースは四倍体の晩生・長期～極長期利用品種。
温暖地・高標高地帯では周年ないし草地的利用（2～3年利用）も可能であり、越夏性（耐暑性）が抜群に優れ、収量性も極めて大。
- エースは草型がややほふく型で、草丈高く、茎葉は大きい。
- エースは夏期または晩秋に発生する冠さび病に極めて強い。
冠さび病抵抗性が強く、西南暖地での9月播き年内利用等では他品種と比較し大きな収量差がつく。
- エースは耐寒性・耐雪性で最強。
積雪・高冷地帯でも安定多収が期待でき、水田転換畑あるいは水田裏作栽培にも最適。
- エースは最も新しいOECD登録品種。
上記の優れた特性と収量性が公的試験機関・農林水産省で評価され、昨年秋OECD登録品種に認定された。これと並行し、世界各地での試作結果も好評で、今や世界の「エース」へと羽ばたいている。

栽培・利用のポイント

エースは数々の抵抗性と環境適応性をそなえており、育てやすくまた利用しやすい。
長期利用の留意点としては、

- ① 梅雨あけ直後の刈取り、特に低刈りは絶対にさける。従って梅雨あけ直前に若干高刈りし、越夏体制を整えること。
- ② 造成時には土壤改良資材の熔リンを重点施用し、春・秋の追肥にはリン酸を加えること。
- ③ 「エース」は草丈60～70cmをめどに刈取る。長草で放置することは基部にムレをおこし望ましくない。

■ 各地の試験概要(収量性) [3カ年平均収量比較成績
マンモスイタリアンAを100とした乾物比] (kg/a)

山口県農試 (年間7回刈合計)					香川県農試 (年間8回刈合計)					茨城県畜試 (年間7回刈合計)					山形県畜試 (年間5回刈合計)				
100	108	95	88	94	100	117	85	85	95	100	112	97	105	103	100	110	82	67	95
158	171	151	139	148	226	264	192	192	215	169	189	164	178	174	193	212	159	130	184
マンモスイタリアンA	エース	市販種(H・A)	市販種(Y・A)	市販種(N・H)	マンモスイタリアンA	エース	市販種(H・A)	市販種(Y・A)	市販種(N・H)	マンモスイタリアンA	エース	市販種(N・H)	テトリライト	市販種(F・H)	マンモスイタリアンA	エース	市販種(H・A)	市販種(Y・A)	テトリライト